

# 令和3年度（2021年度） 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名		東大阪商工会議所
	代表者職・氏名		会頭 稲田 眞一
	所在地		〒577-0809 東大阪市永和2-1-1
	担当者	職・氏名	中小企業相談所 所長 小谷 哲司
		連絡先	TEL（直通）： 06-6722-1151
Fax： 06-6725-3611			
		E-mail： <a href="mailto:kotani@hocci.or.jp">kotani@hocci.or.jp</a>	
①設立年月日		昭和12年12月28日	
②職員数 （うち経営指導員数）		35名（経営指導員24名）（令和4年3月31日現在）	
③所管地域		東大阪市	
④管内事業所数		22, 089（平成28年度経済センサス）	
⑤管内小規模事業者数		17, 402（平成28年度経済センサス）	
⑥会員数（組織率）		6,155（令和4年3月31日現在）（25.2%）	
		※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申</p> <p>②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・適用</p> <p>③地域新産業創出事業の推進</p> <p>④ビジネスチャンスの拡大と販路開拓事業の推進</p> <p>⑤創業支援と産学官交流事業の促進</p> <p>⑥人材確保と雇用対策事業の推進強化</p> <p>⑦街づくり推進への支援</p> <p>⑧商工業者との情報交換の促進事業</p> <p>⑨商工業者の円滑な事業承継への支援</p>			

<p><b>(1) 事業の目標</b></p> <p>地域産業の活性化に向け、モノづくり拠点として認知されてきたMOBIO（クリエイション・コア東大阪北館）において経営指導員が常駐する事で、モノづくり拠点地域としての強みを活かし、全国から寄せられるモノづくり相談に対応し、企業間ネットワークの強化を図る。製造業では大阪市内で開催する展示商談会事業“テクノメッセ東大阪”や商圏拡大に向けた“広域連携ビジネスマッチング事業”など販路拡大に向けた事業を実施する。また、女性の能力を活用すると共に活躍の場を広げるべく実施する“中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業”、就業体験を通じて中小企業の魅力を伝える“インターンシップ支援事業”、外国人労働者雇用を促す“グローバル人材確保支援事業”、障がい者雇用を促す“障がい者雇用促進事業”など人手不足を解消する事業を実施する。小売業・飲食業・サービス業の支援に当たっては、コロナ禍でも営業を円滑に進める“キャッシュレス化の推進事業”を実施し管内事業者のキャッシュレス決済システムの導入を促す。また、昨今の経済情勢で疲弊する商店街の活性化を図る“商い賑わい祭り事業”を実施し消費喚起を行っていく。更にテレワーク導入やBCP策定支援でコロナ禍でも事業が円滑に行われるように支援していく。最後に新型コロナウイルス感染拡大の影響で疲弊する小規模事業者に対して経営指導員が資金繰りや販路拡大等の経営課題に対し、企業それぞれに合った伴走支援を行い、経営の改善、安定化に繋げていき、以って所管地域の活性化を図っていく。</p>
<p><b>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</b></p> <p>上記事業の目標を見据えてMOBIOでは、全国から寄せられるモノづくりに関する相談1,089件に対して、東大阪市内を中心に大阪府内の技術力のある事業所を紹介・斡旋することで府内製造業の販路拡大に努めた。また“テクノメッセ東大阪”では、出展社間の空間を広く取ることで新型コロナウイルス感染症リスクに配慮したリアル展示会を開催し、販路開拓に努めた。また、広域連携ビジネスマッチング事業では、東京・福井の事業所と商談会を開催し、発注企業が多かったことで、ほとんどの事業所が商談の機会を持つことができ、販路開拓につながった。また、事業者向けに実施した“商い賑わい祭り事業”では、地域住民など消費者へ市内商店街の魅力や新たな取り組みをPRするため、チラシを作成し新聞折込で支援対象個店や商店街の集客に努め、且つ売上増加を支援した。最後に経営指導員の巡回・窓口による経営相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による資金繰り面へのサポートをする為の金融支援や、事業再構築のための事業計画書作成支援など直面する経営課題に対し、有効な支援を行った。</p>
<p><b>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</b></p> <p>2年ぶりリアル開催した“テクノメッセ東大阪”では、引合い件数は4472件となり満足度は81.3%であった。“商い賑わい祭り事業”では、「売上向上に対する貢献度」が目標を超える結果となった。人材確保を支援する事業として行った“女性の活用・戦力化支援事業”、“インターンシップ支援事業”、“グローバル人材確保支援事業”では、コロナ禍で雇用情勢が一変し、参加企業が目標に達せず苦戦を強いられた。また、“BCP・BCMの普及促進事業”では、南海トラフ地震を想定した簡易版BCPを作成し、管内企業のBCP策定を促進した。地域活性化事業全体を通して、新型コロナウイルスの影響はあったものの満足度は比較的高かった。経営相談支援事業では新型コロナウイルス感染拡大の影響で資金繰りが悪化している事を受けた金融支援やコロナ禍での新たな事業展開を図る為支援した“事業計画書作成支援”、売上確保を支援する販路開拓支援が多く、売上増進や資金繰り面でのサポートにより課題解決に努め、満足度は高かった。</p>
<p><b>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</b></p> <p>地域活性化事業全体を通して浮かび上がった課題として、対面式の事業の方が受け入れられてはいるが、大型展示会や合同企業説明会など密を生む事業は、感染症の影響が大きく作用する事である。そのため、次年度は状況に応じてリアル開催、オンライン開催だけでなく、ハイブリッド方式の開催も検討する必要がある。経営相談支援事業については、画一的な指導ではなく、各事業所に沿った支援内容や手法を効果的に講じ、当面の課題解決だけでなく先々の成長・安定に向けた支援を行うなど支援対象企業に寄り添って伴走支援することが求められる。</p>
<p><b>(5) 次年度の取り組み</b></p> <p>経済環境の動向に注視しながら、小規模事業者・中小企業が抱える課題解決に向けた事業を展開していく。長引く新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、これまでも本所においては個者支援である経営相談支援事業を積極的に展開してきたが、これまで以上に各事業者が抱える課題に対応することが必要と考える。更に専門性の高い事案については、弁護士や税理士などの専門家派遣制度を活用して対応する。地域活性化事業については、感染症の影響を見つつも、新たな事業を取り入れ、実施時期・場所・実施方法について検討しながら実施していく。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 東大阪商工会議所

**I 経営相談支援事業**

支援のポイント・成果

経営指導員が管内中小事業者へ、個々が持つ経営課題に対して支援を行った。カルテ全体では956件にのぼり、今回、新型コロナウイルス感染症の影響による資金繰り面をサポートする為の金融支援が経営指導型・紹介型を合わせて318件にのぼった。また、コロナ禍でも対応できる販路開拓支援（314件）や新たな事業計画の作成支援は191件あり、事業継続に向けた支援を行った。

【金融支援】

A社は戸建住宅やマンション、店舗等の内装工事を請け負っている。取引先からの信頼が厚く安定した受注により売上は右肩上がりに伸びていたが新型コロナウイルスの影響で資材が調達できず工事が遅れるなどの影響があった。このため新たにオートキャンプ場の事業を立ち上げ、事業を拡大する事で売上げの安定化を図る計画を立てたところ事業再構築補助金に採択され、実行するための資金を調達したいとの相談があり、マルケイ融資での資金調達を提案したところすすめることとなった。その結果、オートキャンプ場建設資金を調達することができ、経営の安定につながった。

【事業計画作成支援】

N社はポリエチレン袋を主とした包装資材の製造・卸とイベント関連商品の販売を行っている。新型コロナウイルスによるイベントの中止やレジ袋有料化により売上は大きく落ち込んでおり、新たな販路を開拓するための事業計画書の作成支援を行った。結果、コロナ禍に対応した非対面型受注システムとオンライン販売サイトを構築する事業計画を作成することができた。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	921	955	103.7%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	35	29	82.9%	4
金融支援（紹介型）	支援数	65	75	115.4%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	250	242	96.8%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	15	10	66.7%	4
資金繰り計画作成支援	事業所	3	0	0.0%	3
記帳支援	事業所	16	26	162.5%	5
労務支援	支援数	90	104	115.6%	5
人材育成計画作成支援	事業所	6	5	83.3%	4
マーケティング力向上支援	事業所	5	0	0.0%	1
販路開拓支援	支援数	280	314	112.1%	5
事業計画作成支援	支援数	182	191	104.9%	5
創業支援	事業所	2	0	0.0%	1
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	5	2	40.0%	2
コスト削減計画作成支援	事業所	5	6	120.0%	5
財務分析支援	事業所	0	0		
5S支援	事業所	25	19	76.0%	4
IT化支援	事業所	5	2	40.0%	3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	0	0		
災害時対応支援	事業所	0	0		
フォローアップ支援	事業所	0	0		
結果報告	事業所	921	955	103.7%	5

**II 専門相談支援事業**

支援のポイント・成果

本年度については、前年度と比べその他相談の商工業経営に関する相談が多く、事業再構築や持続化補助金に関する相談が多かった。法務については、取引契約に関する相談や近隣、事業所間でのトラブルについての相談があった。その他相談の中で登記に関する相談については、事業用融資の返済が完了したので、根抵当権抹消手続の仕方について相談に対し、根抵当権抹消の手続について説明するとともに抹消手続の依頼があったので受任した。専門家による高度な相談支援については、相談に対する明確な対処方法や指導を実施し、相談者が、その対応を図る事で、課題解決が図られている。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	相談件数	13	17	130.8%	5
税務相談	継続	相談件数	3	4	133.3%	5
労務相談	継続	相談件数	10	16	160.0%	5
その他相談	継続	相談件数	13	17	130.8%	5
倒産防止	継続	相談件数	1	2	200.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

昨年度に続き緊急事態宣言により開催時期を大幅に変更した人材確保事業は、全ての事業において支援企業数が計画に届かず、また雇用調整助成金などの影響で求職者が減少しており、苦戦を強いられた。製造事業者支援については、テクノ Messe 東大阪を2年ぶりにリアル開催し、「予想より幅広い業界との商談の場が持てた」や「予想を超える来場者数であった」などの意見をいただいた。また、広域連携ビジネスマッチング事業では、参加数が減少するも、発注企業は比較的多かったため、ほとんどの事業所が商談の機会を持つことができ、販路開拓につながった。商業者支援については、商い賑わい祭り事業で、感染対策を徹底したイベントや新たな取組みで集客を図る商店街の取組みを掲載したチラシを作成し新聞折込により市域住民に広くPRしたことで市域商店街の活性化に繋がった。この他、大阪東部地区6商工会議所が連携して実施した“売り Messe 取引商談会 in 東大阪”は、開催時期を4カ月ずらして実施し、コロナ禍での開催であったため、参加企業数は目標値を下回ったものの、商談成立が20件を越え、通常より濃い商談会となった。また、“BCP・BCMの普及促進事業”では、南海トラフ地震を想定した簡易版BCP策定を実施した。

全国的に問題視されている中小企業・小規模事業者の事業承継問題に対しては、継続して八尾商工会議所・松原商工会議所と連携し事業承継に関するセミナーを各市域毎に実施することで事業承継に関する取組を促進した。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	広域連携ビジネスマッチング事業	30	22	73.3%	86.4	商談成約件数	4	1	25.0%	4
	テクノ Messe 東大阪	100	72	72.0%	76.4	引き合い件数	5500	4472	81.3%	4
	商い賑わい祭り事業	32	33	103.1%	87.9	売上向上に対する貢献度	70%	77.8%	111.1%	5
	インターンシップ支援事業	116	101	87.1%	32.7	学生受入れによる本事業の企業への貢献度	70%	100%	142.9%	5
	熟練技能者育成支援事業	80	82	101.9%	94	講義を受けて理解したと回答した割合	70%	88.5%	126.4%	5
○	中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業	70	39	55.7%	67.6	合同企業説明会面談数	150	76	50.7%	3
○	中小企業のための、「外国人留学生」採用・定着支援事業	80	34	42.5%	94.1	外国人留学生採用への取り組み企業	50%	33.3%	66.6%	3
○	求人・求職マッチング事業	150	162	108.0%	75.9	合同企業説明会面談数	200	282	141.0%	5
○	BCP・BCMの普及促進事業	22	21	95.5%	95	簡易版BCP「これだけは！」シート等のBCP作成企業数	22	18	81.8%	5
○	ものづくり支援拠点(MOBIO)連携推進事業	270	1,089	403.3%	94	引合い斡旋件数	500	1089	217.8%	5
○	経営革新の支援事業	30	36	120.0%	100	経営革新計画承認に向けた取組割合	10%	10%	100.0%	5
○	人材ニーズ対応支援事業	25	23	92.0%	100	(公財)大阪産業局との連携により人材を確保をはじめとした人材戦略に取り組む企業数	5	5	100.0%	5
○	技術専門校を活用した中小企業従業員等の技術向上事業	30	32	106.7%	89.3	習得した知識や技術を現場で活用できると感じた事業所数	10	22	220.0%	5
○	キャッシュレス化の推進事業	28	30	107.1%	79.3	キャッシュレス決済システム導入に取り組む企業の割合	60%	61.5%	102.5%	5
○	テレワークの導入・定着支援事業	20	19	95.0%	89.5	テレワーク導入を検討する企業数	10	6	60.0%	5
○	障がい者雇用促進事業	15	8	50.0%	100	障がい者人材確保についての理解を深める	15	7	46.7%	3

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	技能検定の活用促進事業	25	18	70.0%	93.8	技能検定の活用への取り組みを検討する企業割合	50%	73.70%	147.4%	4
○	事業承継支援ネットワーク事業	60	57	94.2%	96.4	事業承継診断実施企業数	60	44	73.3%	5
	売り Messe 取引商談会 in 東大阪事業	148	123	83.1%	87.6	商談件数	450	328	72.9%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

東大阪商工会議所

事業名		広域連携ビジネスマッチング事業							
想定する実施期間		2008 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市域製造業と他都市の製造業が商談・交流をすることにより、受発注の販路開拓・共同開発や情報交換に繋げ市域内企業の活性化を図る。また、府外他商工会議所等との連携により、事業規模拡大に繋げ相乗効果を図り、取引マッチングの獲得を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内域製造業者 5,954社 *平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	2021年10月8(金) 10時～17時 「ザ・商談!し・ご・と発掘市」 東京都立産業貿易センター台東館 参加企業数全体 発注企業47社(東大阪 2社) 受注企業155社(東大阪 6社) 商談件数 482件(東大阪 発注企業23件、受注企業18件)							
		2021年11月8日(月)～11月26日(金) 「ふくいオンラインビジネス商談会」 オンライン商談会 参加企業数全体 335社(東大阪 11社) 商談件数 245件(東大阪 11件)							
		2022年3月4日(金) 10時～17時 「ザ・商談!し・ご・と発掘市」 東京都立産業貿易センター浜松町館 参加企業数全体 発注企業66社 受注企業200社(東大阪 3社) 商談件数 427件(東大阪 7件)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携								
	②広域連携								
	③市町村連携								
	④相談相乗	各経営指導員が金融等(取引支援を含む)の経営相談で得た情報に対し、受発注の取引を増やしたい事業所には個別でイベントの情報を提供している。							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	73.3%	満足率	86.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今年度は、東京商工会議所が中心となり38商工会議所で開催する「ザ・商談!し・ご・と発掘市」は10月と翌年3月に開催、発注企業2社と受注企業9社が参加。11月には福井商工会議所が中心となり北陸・関東・中部・関西の商工会議所が参加する「ふくいオンライン商談会」は11社の参加となった。 いずれの商談会も発注企業が多かったことで、ほとんどの事業所が商談の機会をもつことができ、多い事業所では1日で6件の商談と、大変喜ばれた。出会ってすぐに、成果を出す事が難しい中、1件の商談が既に結び付いたと報告を受けた。一方、商談成立見込みが無いとされる案件もあったが、参加した多くの企業が今後も情報交換や次年度の参加表明をされるなど、前向きな企業が多くみられた。							
		代表指標	商談成約件数						
		数値目標	4	実績数値	1	目標達成度	25.0%		
	成果の代表事例	A社 東京の商談会で、受発注の取引商談を行い相手企業の仕入先と共通点を持っており、新規受注に結びつくきっかけを作ってくれた。今後の受注量の増加も見込める。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	商談会への取組は、率先してPRを行い、たくさんの事業所を商談会へ送り込むことであるが、今回10月の商談会の前日に東京で震度5強の地震があり、当日は複数社の参加辞退があり商談機会を失った。またコロナ感染拡大で参加できない事業所もあり参加企業数を増加できない要因がある。東京商工会議所ともリアル開催を強調しており、できる限りの感染予防対策を徹底し参加者が安心して商談ができる場を作ることが必要である							

東大阪商工会議所

事業名		テクノメッセ東大阪事業							
想定する実施期間		1987 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が低迷する企業が多い中、本展示会を通して販路拡大を図ると共に、市域中小企業が誇る新技術や最新情報の入手、技術連携先の発掘を目的に開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者 42,680社 *平成28年経済センサス基礎調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日 時 : 令和3年12月8日(水) 9:30~17:00・9日(木) 9:30~16:00 会 場 : マイドームおおさか 1階展示場 出展者数 : 82社・団体 92小間 来場者数 : 延べ8,289人 引合い件数: 4,472件							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	東大阪市が補助金を交付。また、東大阪市の記者クラブを介して、プレスリリースした他、市政だより等で事業を告知する等、PR活動において連携している。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	100	総支援企業数(実績)	72	支援実績率	72.0%	満足率	76.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「技術が主役～時代が求めるモノづくり～」をテーマに、各出展者ブースで東大阪地域企業が誇る製品・技術をPRし、特別企画展として東大阪企業が取り組む先端技術・製品を展示した結果、延べ8,289人の来場者があった。コロナ禍での開催であったが来場者数も多く、同時開催イベント『きたしんビジネスマッチングフェア』と連携した広報に効果が現れた。引き合い件数については目標(5,500件)に対し、4,472件の引き合い数となった。出展者アンケートでは、「コロナ禍であったが予想を超える来場者数であった」、「幅広い業界との商談の場となった」との声があり、来場者アンケートについても展示会の印象は「良かった」との回答が66.3%とコロナ禍での開催であったが、次年度以降、多くのリピーターが来場者として見込める。本産業展を通して、支援企業に新たな販路拡大の機会を提供することができた。							
		代表指標	引き合い件数						
		数値目標	5,500	実績数値	4,472	目標達成度	81.3%		
	成果の代表事例	出展企業である樹脂加工業者が会期中に来場者との商談を15件成立させ、53万円の売上を計上。全体で10社76件の商談が成立し、販路拡大に繋がった。また、メディアで本展示会が取り上げられ、出展者の展示品が紹介されるなどPRにも大きく貢献した。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ禍での開催となったが、来場者数も8,000人を超え盛況のうちに終えることができた。しかしながら、引き合い件数が目標である5,500件を下回る結果(4,472件)となった。理由としてコロナ禍で気軽に企業との接触することが難しかったことが考えられることから、来年度以降はコロナ禍の状況であってもストレスフリーで気軽に名刺交換ができる仕組みづくり(レイアウト等)を考えたい。							

東大阪商工会議所

事業名		商い賑わい祭り事業							
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市内商店街・市場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出控えやEC市場の拡大も相まって、厳しい状況が続いている。しかしながら、商店街・市場は地域コミュニティの場として住民の重要な役割を担っていることもあり、商店街・市場に再びお客様に来ていただくためには、商店街・市場が催すイベント等を広域にPRして地域住民に改めて商店街・市場の魅力を発信することで商業活性化を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	東大阪市内の58商店街、2市場							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【商い賑わい祭りちらし作成・配布】 作成部数 102,000部 配布方法 4大新聞(読売、朝日、産経、毎日)市域10万世帯分を新聞折込 折込日 2021年11月26日(金) 掲載商店街数 36商店街 掲載内容 36商店街の年未年始のイベントもしくは商店街の魅力について掲載する。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	32.0	総支援企業数(実績)	33.0	支援実績率	103.1%	満足率	87.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	一昨年から感染拡大している新型コロナウイルスにより市域商店街では来街者が減少しているが、少しでも来街者を増加させるために各商店街では前年度には実施を控えていたが今回は感染対策を徹底しイベントを実施する商店街が増え、そのイベントや新たな取組みで集客を図る商店街の取組みを掲載したチラシを作成し新聞折込により市域住民に広くPRしたことで市域商店街の活性化に繋がった。							
		代表指標	売上向上に対する貢献度						
		数値目標	70%	実績数値	77.8%	目標達成度	111.1%		
	成果の代表事例	K商店街ではコロナ禍でイベントに対する予算を削減せざるを得ない中、チラシに無料で掲載し東大阪市内に新聞折込していただいたことで集客できた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)						目標値(実績)	目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	商店街には様々な日用品や食料品、各種サービス業など複数の店舗があり、飲食店のように国から補助を受けることが出来ない為、来街者減は大幅に売上に反映されることから経営が苦しい店舗が増加している。商店街には地域住民にとっては防犯面でも大きな役割をはたしていることから、国の支援を受けることが出来ない店舗等への支援は欠かせないが各個店ごとの支援は難しく商店街単位での支援として来街者増に向けた支援を継続することは必須であり、次年度においても本事業とともに人的な支援を行うことが出来る。							

東大阪商工会議所

事業名		インターンシップ支援事業							
想定する実施期間		2014 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	インターン生がものづくり企業で職場体験を積むことで、将来の産業界を支える人材育成に寄与するとともに、大学等と地域企業の連携を深めることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者5,954社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	インターンシップ受入企業を発掘。受入条件やカリキュラム等をガイドブックとして取りまとめ、インターン生派遣を希望する大学・高専・工科高校のキャリアセンター等に情報提供し、学生の就業体験の機会を創出する。 2021年 4月・・・受入企業募集 2021年 5月・・・受入企業ガイドブック作成 2021年 6月・・・受入企業ガイドブックを参加大学・受入企業へ発送 2021年 7月・・・事業実施(大学・企業間でインターンシップの実施交渉) 2021年 7月～9月・・・受入企業でインターンシップを実施 2021年10月～12月・・・インターンシップ実習報告・アンケート回収、集計							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	本所は事業の企画・運営を担い、市は事業への補助金交付による支援を行う。						
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	116.0	総支援企業数(実績)	101.0	支援実績率	87.1%	満足率	32.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	インターンシップ受入企業は、目標件数116社に対し、101社が参加し、満足度を確認したところ、コロナ禍により学生のインターンシップへの参加が制限されたため、32.7%となった。また、インターン生の受入を実施した企業は8社で、全ての企業がインターンシップの取り組みに関して、何らかの効果があつたとの回答を得た。今後も職場体験の機会を促進するため、受入企業の増強を図る。							
		代表指標	学生受入による本事業の企業への貢献度						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	参加学生については、市域モノづくり企業での作業を体験をすることにより、実際の現場の空気を感じ、モノづくりに親近感を持ってもらうことで、地域製造業への就業の動機付けをする機会となった。受入企業については、社会貢献に寄与するだけでなく、会社のイメージ向上や大学等へのPRなどにも繋がった。 以下は受入企業のコメント 【B社】 営業や現場施工、営業事務など様々な仕事をお願いしましたが、どの作業にも社員と交流をしながら、積極的に取り組んでくれました。この経験を今後の就職活動に活かしてもらえれば幸いです。							
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	近年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、受入企業・参加学生数ともに低調であるが、世間のインターンシップへの関心は未だ高い。そこで各学校との連携をより密にし、学生に事業を広くPRすることで、受入企業各社の魅力を伝え、インターンシップの実施に繋げる。							



東大阪商工会議所

事業名		熟練技能者育成支援事業							
想定する実施期間		2014 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域製造業の持続的発展を図るため、基盤技術や熟練技能の円滑なる承継、また生産現場を統括するリーダーの育成は必要不可欠であることから、技能、現場管理の両面から人材を育成する事を目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内製造事業者 5,954社 *平成28年経済センサス活動調査により							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	生産現場リーダー能力開発研修「現場リーダーのあるべき姿と仕事の教え方」(2021年7月28日開催)参加企業40社57名 「切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー」(2021年9月27日開催)参加企業27社39名  生産現場における管理監督者の資質向上により技能者育成の円滑化を図る講座「生産現場リーダー能力開発研修」と、切削加工技術の基礎となる部品加工図面の読み方、見方、描き方を学び作業の平準化による技能継承を図る講座「切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー」をNPO「地域基盤技術継承プラザ」と連携し開催した。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	本所は事業の企画・運営を担い、市は事業への補助金交付による支援を行う。連携については、市の広報(市政だより等)で事業のPRのみの側面協力を行い、事業については全て会議所が主体となり、NPO「地域基盤技術継承プラザ」と連携し、非会員事業者への周知も行う。								
④相談相乗									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	80.0	総支援企業数(実績)	81.5	支援実績率	101.9%	満足率	94.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	各講習会の評価(満足率)は次の通りである。 生産現場リーダー能力開発研修 100% 切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー 89.7% 講義を受けて理解したと回答した割合は次の通りである。 生産現場リーダー能力開発研修 94.7% 切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー 79.5% 継続的な指導についてはNPO「地域基盤技術継承プラザ」に依頼した。							
		代表指標	講義を受けて理解したと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	88.5%	目標達成度	126.4%		
	成果の代表事例	生産現場リーダー能力開発研修では全員が「満足」、「おおむね満足」と回答。「管理職としての考え方やノウハウをよく学べた」、「予想以上に充実した内容で非常に有意義であった」などの意見があった。切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナーは33名が「図面を読む手法を学ぶ事ができた」、11名が「図面を描く手法を学ぶ事ができた」と回答。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	申込み人数を見ると、両セミナーともニーズは高いと考えられるが「演習問題にもっと時間をかけて欲しい」(生産現場リーダー能力開発研修)といったコメントもあったため、カリキュラムを再検討し、引き続き類似のテーマで実施する。切削加工技術力向上セミナーは繁忙期と重なり参加者数が減少したため、参加しやすい日程を設定する。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	48.5	支援実績率	121.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	受講の効果としてはアンケートで「リーダーとしての心構えができた」と回答した者が最も多く、次に「現場管理のノウハウを学ぶ事ができた」と回答した者が多かった。							
		指標	講義を受けて理解したと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	94.7%	目標達成度	135.3%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	33.0	支援実績率	82.5%	満足率	85.2%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	受講の効果としてはアンケートで「図面を読む手法を学ぶ事ができた」と回答した者が最も多く、次に「図面を描く手法を学ぶ事ができた」と回答した者が多かった。							
		指標	講義を受けて理解したと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	79.5%	目標達成度	113.6%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業							
想定する実施期間		2019 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化に伴う労働力人口の減少により、中小企業では優秀な人材の獲得が難しい状況にあり、慢性的な人手不足に陥っている。新型コロナウイルス感染症の拡大による売上の減少に対応し、回復に取り組んでいる中小企業において、売上確保のためには人材確保が欠かせない。そこで子育てなどを理由に職を離れた働く意欲のある女性の活用を普及啓発すると共に雇用機会を提供することで中小企業における人手不足の解消を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所を対象 事業所数392,940社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【マザーズやシニアが活躍できる就労環境セミナーの実施】 日 時 : 2021年6月3日 14時～16時 場 所 : 東大阪商工会議所本所本館4階大会議室 内 容 : 第1部 テーマ マザーズ&シニアを最大限に活用するには 講 師 (株)マイナビ 転職情報事業本部 担当者 第2部 ①テーマ 平均年齢68歳！高齢者を軸とした経営 講 師 (株)アクアテック ②テーマ あらゆる部門に女性を！リサイクル企業の新しい挑戦 講 師 三洋商事(株) ③テーマ ”くるみん”認定は中小企業の大きなメリット 講 師 日本真空包装機械(株) 第3部 テーマ マザーズ・シニア活用の為の助成金制度紹介 講 師 大阪労働局 助成金センター 担当者 参加者 : 17社24名							
		【東大阪就職フェア(女性向け)の実施】 日 時 : 2021年11月10日(木) 10時～14時 場 所 : 東大阪商工会議所本所本館4階大会議室 参加企業数: 20社 参加者 : 43名 面談数 : 76件							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課やOSAKAしごとフィールドと連携して実施した。						
		②広域連携							
		③市町村連携	市より事業への補助金を交付						
		④相談相乗							
		計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	70.0	総支援企業数(実績)	39.0	支援実績率	55.7%	満足率
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「マザーズやシニアが活躍できる就労環境セミナー」は新型コロナウイルス感染拡大により支援企業数が大きく下回る結果となった。しかしながら参加者の満足度は非常に高く、企業の女性活用に対するニーズは高いと思われる。また、事例発表では、現場作業で活躍する女性の情報、労働環境の整備方法などについての解説があり大いに参考になったと思われる。「東大阪就職フェア(女性向け)」では参加企業が新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中、参加企業数は当初の計画通りであった。また、採用に繋がりそうな人材についても17名あり参加企業の女性労働力確保の一助となった。							
	代表指標	合同企業説明会面談数							
	数値目標	150件	実績数値	76件	目標達成度	50.7%			
成果の代表事例	「東大阪就職フェア(女性向け)」の参加企業において、採用に繋がりそうな人材が6人あったとの報告があり、人材確保の観点から成果があったとの回答があった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</p>	<p>「マザーズやシニアが活躍できる就労環境セミナー」の支援企業数が当初計画より大きく下回った。本所において6月に実施した各種セミナーにおいても参加者確保に苦戦していることから、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいことが伺える。次年度においては状況を見ながら今回のようにリアルでの開催にするのか、オンラインによる開催にするのか、リアル・オンライン両面でのハイブリットでの開催にするべきか検討する。</p>
------	---	--

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%	満足率	45.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	合同企業説明会面談数						
		数値目標	150	実績数値	76	目標達成度	50.7%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)	100	目標値(実績)	43	目標達成度	43.0%		
開催時期が新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初計画していた9月から11月に変更したことで9月に就活を活発的にする主婦層の参加者が少なかった。									
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	50.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	38.0%	満足率	94.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	参加企業数は少なかったものの、満足度は高く、女性を活用するにあたり大変参考になったとの意見もあり今後の女性活用の促進に繋がった。							
		指標	参加者の満足度						
	その他目標値の実績	数値目標	70	実績数値	96	目標達成度	137.1%		
	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		中小企業のための、「外国人留学生」採用・定着支援事業							
想定する実施期間		2018 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化に伴う労働力人口の減少とビジネスのグローバル化により、外国人雇用を検討している企業は増加している。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大で外国人留学生の採用活動にも影響を及ぼし、内定のない外国人留学生が多く存在している状況である。そこで外国人留学生の雇用に関する基礎知識や採用に関する情報等の習得と共に雇用機会を提供することで就職を希望する外国人留学生とマッチングさせ中小企業における人手不足の解消とグローバル化を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所を対象 事業所数392,940社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【外国人労働者雇用対策セミナーの実施】</p> <p>日 時: 2021年6月24日(木) 14時～16時</p> <p>場 所: 東大阪商工会議所本所本館大会議室1</p> <p>テーマ: 今からでも遅くない! 気になる外国人雇用の最新情報と雇用の秘訣</p> <p>内 容: ①第1部                  テーマ 外国人材受け入れ制度の概要と雇用活用のポイント                  ～入管法と採用可能なビザについて～                  講 師 法務省大阪出入国在留管理局 終了審査部門 担当者</p> <p>②第2部                  テーマ 失敗しない外国人留学生の採用と留学生の活かし方                  講 師 学校法人エール学園 担当者                  森興産(株) 担当者</p> <p>参加者数 30社34名</p> <p>【外国人留学生向け合同企業説明会・業界研究会実施】</p> <p>日 時: 2022年1月19日(水) 10時～16時</p> <p>場 所: 東大阪商工会議所本所本館4階大会議室1・2</p> <p>出展者: 7社                  参加者: 43名                  面談数: 88件                  就職者: 4名</p>							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府商工労働部就業促進課と連携して外国人留学生等の雇用概要説明及び合同企業説明会を実施する。大阪府が実施する『グローバル人材(外国人留学生)採用・定着支援事業』PRをセミナーおよび合同企業説明会時に参加企業等へ案内する。セミナー及び合同企業説明会の参加企業を、大阪府が実施する『グローバル人材(外国人留学生)採用・定着支援事業』へ登録誘導する。						
②広域連携									
③市町村連携	市より事業への補助金を交付								
④相談相乗									
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	80.0	総支援企業数(実績)	34.0	支援実績率	42.5%	満足率	94.1%	
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	外国人労働者雇用対策セミナー、外国人留学生向け合同企業説明会・業界研究会共に5割弱と当初計画時の支援企業数を大きく下回る結果となった。しかしながら、参加者の満足度を見ると89.5%と非常に高い満足度を得ていることから企業のニーズは高いと思われる。更に合同企業説明会・業界研究会については参加促進に向けて個別にて架電したところ新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることから今回は見合わせたとの声もあり、感染状況によっては当初計画数を十分に確保できると思われる。また、面談数についても7社で88件あり1社平均10件を超えていることから留学生・企業ともにニーズは高いことが伺える。セミナーについても新型コロナウイルス感染拡大中、合計34名の参加があり依然として企業の外国人労働力に期待値は高いと考える。							
	代表指標	外国人留学生採用への取組み企業							
	数値目標	50%	実績数値	33.3%	目標達成度	66.6%			
成果の代表事例	合同企業説明会・業界研究会において、S社では4人の外国人留学生に内定を出した。近年、中小企業においては労働力確保に苦戦する中、新たな人材を4名確保できたことは大きな成果であった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	支援企業数が当初計画時より少なかった。大きな要因としては新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きかったと思われる。今年度はセミナー及び合同企業説明会のいずれもリアルでの実施であったが感染状況なども鑑みながらオンラインでの開催、もしくはリアルとオンラインのハイブリッド方式での開催も検討する。
------	--	--

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	65.0	支援企業数(実績)	28.5	支援実績率	43.8%	満足率	93.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	参加企業数は少なかったものの、満足度は高く、外国人材を活用するにあたり大変参考になったとの意見もあり今後の外国人材活用の促進に繋がった。							
		指標	外国人留学生採用への取組み企業						
		数値目標	50	実績数値	33	目標達成度	66.6%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	46.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	支援企業数は少ないものの、満足度は100%と非常に高い。また、採用者数も4人あり大きな成果が上がったと考える。							
		指標	外国人留学生採用への取組み企業						
		数値目標		実績数値		目標達成度			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	100.0	支援企業数(実績)	43.0	支援実績率	43.0%	満足率	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	留学生の参加についてはエール学園などと相談しながら決定していったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響もありなかなか、開催日程を確定できずに実施時期が年を越したことにより少なくなった。							
		指標	来場者						
		数値目標		実績数値		目標達成度			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		求人・求職マッチング事業
想定する実施期間		1997 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化に伴う労働力人口の減少、新規学卒者や転職者の大企業志向から中小企業を取り巻く雇用環境は厳しい状況にある。そこで新規学卒者等を対象とした合同企業説明会や求人サイトの運営による雇用機会の創出、大学との情報交換会や中高卒の新規学卒者を雇用するための説明会による情報収集の場を提供することで人手不足の解消を図る。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業所 22,089社 ※平成28年経済センサス基礎調査結果より
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業：東大阪合同企業説明会・業界研究会2022 日時：2021年8月3日(火) 10時～16時 場所：東大阪商工会議所 大会議室 ※大学にて実施予定が新型コロナウイルス感染症の影響で会場使用不可のため会場変更 内容：市域企業の新卒者採用を円滑に進める事を目的に令和4年3月卒業予定の大学・短期大学・専門学校生及び既卒の方を対象に合同企業説明会を開催した。併せて、大学3年生以下の学生を対象に業界研究会を併催した。 企業数：27社 来場数：54名 面談数：177件
		事業：東大阪合同企業説明会・業界研究会2022 日時：2022年1月26日(水) 10時～16時 場所：東大阪商工会議所 ※大学にて実施予定が新型コロナウイルス感染症の影響で使用不可のため会場変更 内容：市域企業の新卒者採用を円滑に進める事を目的に令和4年3月卒業予定の大学・短期大学・専門学校生及び既卒の方を対象に合同企業説明会を開催した。併せて、大学3年生以下の学生を対象に業界研究会を併催した。 企業数：24社 来場数：35名 面談数：105件
		事業：大学キャリアセンターと企業採用担当者との情報交換会 日時：2022年3月3日(木) 14時～17時 場所：東大阪商工会議所 大会議室 内容：第一部 ①参加大学の紹介②大学・短期大学から昨今の学生の動向についての説明 第二部 グループ別名刺交換及び情報交換 参加者：大学・短期大学15校 参加企業39社
		事業：就職プラザ 開催期間：2021年4月～2022年2月（3月は更新期間） 内容：インターネットを通じた新規学卒者用求職マッチングサイト。市内企業の新規大学卒の求人情報をホームページ上で情報発信。 参加企業：72社（アクセス数：5,053件 ※2月末現在）
	事業：新規学卒者求人求職説明会 ※コロナ禍で実施せず	
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>	
	①府施策連携	商工労働部雇用推進室 労働環境課 労働環境推進グループと連携し、毎年、求職者の労働等に関する相談窓口を説明会当日に設置（コロナ禍で今年度は実施出来ず）。求職者の就職に対する悩み相談に対応。
	②広域連携	
③市町村連携	市より事業への補助金を交付	
④相談相乗		

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	150.0	総支援企業数(実績)	162.0	支援実績率	108.0%	満足率	75.9%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	(目標設定) 合同企業説明会 25社 合同企業説明会 25社 大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 40社 就職プラザ 60社 新規学卒求人説明会 30社							
		(実績) 合同企業説明会 27社 合同企業説明会 24社 大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 39社 就職プラザ 72社 新規学卒求人説明会 未実施 支援実績率は90%、満足度は75.9%となった。事業を通して企業と求職者のマッチングを図ることとで人材確保の一助とした。							
	代表指標	合同企業説明会面談数							
	数値目標	200	実績数値	282	目標達成度	141.0%			
	成果の代表事例	東大阪合同企業説明会・業界研究会2021に参加したK社が学生と面談を行い、最終的に3名の採用に至った。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	200	目標値(実績)	89	目標達成度	44.5%			
	求職者(合同企業説明会)200名								
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>○合同企業説明会 採用活動が活発化している4~6月での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催時期の変更を余儀なくされたことが来場者減少の要因と判断する。次年度については近隣大学を会場として実施するとともに最適な時期に開催することで来場者を増加させる必要がある。</p> <p>○大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 参加企業もほぼ定員近くに達し、満足度も80%弱の高評価を得た。参加企業・大学のアンケートを参考に運営方法を改善することで満足度向上を目指したい。</p> <p>○就職プラザ 昨年度よりもアクセス数の増加に成功。次年度以降も更なるアクセス数の増加を目指し、PRを続けていく。</p> <p>○新規学卒求人説明会 コロナ禍により実施せず。来年度はハローワーク布施と連携し対面型セミナーを実施予定。</p>							



【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	27.0	支援実績率	108.0%	満足率	92.6%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	人手不足に悩まされる中小企業に対し、新規学卒者の雇用機会を提供することで雇用環境の改善に寄与する。							
		指標	合同企業説明会面談数						
	その他目標値の実績	数値目標	100	実績数値	177	目標達成度	177.0%		
目標値(計画)		100	目標値(実績)	54	目標達成度	54.0%			
求職者100名									
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	96.0%	満足率	54.2%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	人手不足に悩まされる中小企業に対し、新規学卒者の雇用機会を提供することで雇用環境の改善に寄与する。							
		指標	合同企業説明会面談数						
	その他目標値の実績	数値目標	100	実績数値	105	目標達成度	105.0%		
目標値(計画)		100	目標値(実績)	35	目標達成度	35.0%			
求職者100名									
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	39.0	支援実績率	97.5%	満足率	94.6%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	人手不足に悩まされる中小企業に対して、大学及び新規学卒者の動向を把握することで雇用環境の改善に寄与する。							
		指標	参加者満足度						
	その他目標値の実績	数値目標	70%	実績数値	—	目標達成度	—		
目標値(計画)			目標値(実績)		目標達成度				
求職者100名									
実績／達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	60.0	支援企業数(実績)	72.0	支援実績率	120.0%	満足率	69.4%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	人手不足に悩まされる中小企業に対して、新規学卒者の雇用機会を提供することで雇用環境の改善に寄与する。							
		指標	参加者満足度						
	その他目標値の実績	数値目標	70%	実績数値	94.6%	目標達成度	135.1%		
目標値(計画)			目標値(実績)		目標達成度				
求職者100名									

東大阪商工会議所

事業名 B C P ・ B C M の普及促進事業

想定する実施期間 2012 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大地震や台風等の自然災害やインターネット普及によるサイバー攻撃など、企業経営に対する脅威は多種多様となっており、以上に事前の備えや対策が求められています。いかなる有事の際にも事業を継続し得る体制（BCP）作りが求められている。しかし、市内企業におけるBCPの策定やBCMに取り組む企業は、未だ多いとはいえないことから、その必要性を周知すると共に、施策普及などによりBCP策定を後押しする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業所 22,089社 ※平成28年経済センサス滑動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>中小企業向けBCP策定セミナー ～自然災害に備えよう～ の実施</p> <p>日時: 2021年 11月11日(木) 15時～17時</p> <p>場所: 東大阪商工会議所 本所本館4階 大会議室</p> <p>内容: 第1部 セミナー 自然災害に対するBCP(事業継続計画)策定の必要性 講師 東京海上ディーアール株式会社 マネージャー 主席研究員</p> <p>第2部 BCP(事業継続計画)策定方法の解説 (大阪府「超簡易版BCP『これだけは!』シート(主に自然災害対策版)」を用いて、シートに記入しながら学んでいただきます。) 説明者 東京海上日動火災保険株式会社 担当者</p> <p>第3部 BCP策定支援メニューの紹介 大阪府 商工労働部より</p> <p>第4部 個別相談会 (事前予約希望者のみ2社2名)</p> <p>参加者: 18社 20名</p>							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	(α)府施策連携商-I0 大阪府中小企業支援室経営支援課経営革新グループと連携し、専門家によるセミナーを開催することでBCPの普及啓発を行った。						
		②広域連携							
③市町村連携	東大阪市と協定を行い、専門家によるセミナー個別相談等を行うこととなっている。								
④相談相乗									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	95.5%	満足率	95.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	上記セミナーを実施したところ、参加企業の満足度については、合わせて95%の方が「満足」「やや満足」回答していただき好評であった。また、今後のBCPの策定については「すぐにも取り組みたい」が40%、「検討した上で取り組みたい」が40%となっており、多くの事業所にBCP策定について理解してもらえたように思われる。しかしながら、アンケート結果を見る限り、製造業以外の業種では、BCPの策定について「取り組む予定はない」との回答が多く、小規模事業者等へのBCP策定の普及に向けた取り組みが困難であることが浮き彫りとなったと思われる。							
		代表指標	簡易版BCP「これだけは!」シート等のBCP作成企業数						
		数値目標	22	実績数値	18	目標達成度	81.8%		
	成果の代表事例	参加者アンケートによるとBCPの概要や策定方法、支援策の情報を得たことでBCP策定を「すぐにも取り組みたい」と回答した企業が5割程度あった。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)	2	目標値(実績)	2	目標達成度	100.0%		
セミナー参加者等でもっと詳しいBCPを策定希望される事業所のBCP策定支援									

実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</p>	<p>参加企業数について、18社と当初計画していた20社に届かなかったが、参加者アンケートからも分かるようにセミナーの満足度も高く、今後のBCP策定についても多くの企業に理解をいただいた。次年度取組みとしては、管内事業所のBCPの策定比率を高めるため、ハンズオン支援など取り組みの強化を図っていききたい。</p>
------	---	--

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	95.0%	満足率	95.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	参加者アンケートによるとBCPの概要や策定方法、支援策の情報を得たことでBCP策定を「すぐにも取り組みたい」と回答した企業が5割程度あった。								
		指標	簡易版BCP「これだけは！」シート等のBCP作成企業数							
	数値目標	20	実績数値	18	目標達成度	90.0%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナー参加者等でもっと詳しいBCPを策定希望される事業所のBCP策定支援								
		指標								
	数値目標		実績数値		目標達成度					
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					

東大阪商工会議所

事業名		ものづくり支援拠点（MOBIO）連携推進事業							
想定する実施期間		2006 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	多様な製造業が高度に集積する本市の強みを活かし、様々なモノづくりに関する支援資源を有するMOBIOと連携することで全国からのものづくり相談を管内と府下事業所へマッチングすることで府下事業所の販路拡大を図り、地域産業の活性化に繋げる。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	府内製造業者42,680社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	中小製造業の街・ものづくり拠点地域としての強みを活かし、全国からの取引相談をMOBIO内（クリエイション・コア東大阪北館）に集約。経営指導員が随時、対応することで、府下事業所へ取引マッチングと販路開拓支援、資金繰り支援を行った。結果1,089件の取引コーディネートや販路支援、資金繰り改善等を行った。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	中小企業支援室 ものづくり支援課 モビオ事業推進グループと連携し、府内各地域のものづくり企業が府のモノづくり支援拠点（MOBIO）を活用することによって、新製品・技術の開発や経営力の強化などを図り、MOBIOの様々な機能や府関連施策などの支援資源を、本所を介して、地域のものづくり企業の利用に繋げた。						
		②広域連携							
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	270.0	総支援企業数(実績)	1,089.0	支援実績率	403.3%	満足率	94.0
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	受・発注の紹介支援については、管内、管外から寄せられた様々なモノづくりに関する相談に対応した。また、今年度は新型コロナウイルスの影響で補助金等関係が最も多く全体の29%を占め、昨年とは違い、融資相談を超える結果となった。相談者から寄せられた問題について細かなヒアリングを行い、本所で実施している事業の利用や、他機関の媒体を利用した販路開拓など適切な方法を紹介し、課題解決に向けた支援を行った。							
		代表指標	引合い斡旋件数						
		数値目標	500	実績数値	1,089	目標達成度	217.8%		
	成果の代表事例	市内金属加工業を営んでいる事業者が老朽化した機械を入れ替えるうえで、何か使える補助金はないかということで、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金と東大阪市設備投資支援補助金を説明し申請支援を行っていったり、市内印刷業者から布マスクにプリントを施し販売を考えているが、布マスクを仕入れるもしくは作ってくれる業者を紹介して欲しいとの相談から、同じく市内の事業者を紹介するなど、あらゆる方法で問題解決に繋げた。							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	コロナ禍で出入りできない時期があったが、支援対象企業数は目標値を超えた。次年度以降も各関係機関と連携を図り、取引活性化につなげたい。また、販路開拓支援や融資相談なども柔軟に対応し、企業のニーズに合った効果的な支援を行う。							

東大阪商工会議所

事業名		経営革新の支援事業							
想定する実施期間		2007 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	経営革新に取り組んでいる、これから申請しようと考えているが何から始めたらよいかかわからない前向きな中小企業を掘り起こし、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認取得を支援する。また、承認企業の事業計画作成、計画実施をサポートすることにより、地域産業の牽引役となる成功企業を輩出する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者 5,954社 *平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日時：2021年8月5日(木)18時30分～20時30分 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 テーマ：「激動の時代に勝つ 営業力強化『販売なくして事業なし!』」～幹部人材の育成法～ 内容：・明確な販売目標の設定の仕方 ・営業ほど楽しい仕事はない(営業力強化) ・戦略的な中期経営計画の推進手法(特に営業戦略について) ・経営の原理・原則 講師：(株)ユーマスブレイン 担当者 参加者：21社24名							
		日時：2022年2月3日(木)18時30分～20時30分 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 テーマ：「激動の時代に勝つ 収益力強化の実践手法!」～会社には、大きな利益が眠っている～ 内容：・強い会社のすごい共通点! ・戦略的な体質強化策 ・実践的取り組み事例 講師：(株)ユーマスブレイン 担当者 参加者：12社17名							
		※いずれもセミナー終了後、大阪府商工労働部経営支援課 経営革新グループ担当者より経営革新計画申請の方法やメリットについて解説頂いた。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談相乗)の具体的な連携・効果を記載>							
①府施策連携	府施策連携商11番:大阪府経営支援課経営革新グループと連携しセミナー内容及び経営革新計画の取得を支援する為の概要から取得に係る手順、取得後の支援施策等について協力を得ながら、承認企業発掘促進を図った。								
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	36.0	支援実績率	120.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2回にわたり経営革新セミナーを開催し、経営者から役員のみならず従業員の方まで受講され、受講者のアンケート満足度は非常に高かった。経営者や幹部として今後の経営企画を進めるにあたり参考にする。企業方針、経営戦略を決定するときに役立てるといった前向きな回答が得られた。激しい経営環境の中で勝ち残るには自社の改革が必要で、それには経営者・幹部の考え方や戦略的中期計画の策定が求められる。参加者からは経営革新に前向きな意見が多くあり、5社から推進したい意向を示され、経営革新計画承認に対する意識を高めることが出来た。							
		代表指標	経営革新計画承認に向けた取組割合						
		数値目標	10%	実績数値	10.0%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	参加者アンケートから「経営について考え直すきっかけになった」「今後の経営の進め方のヒントになった」「中期経営計画の策定手法の必要性を理解できた」「目標づくり、意識改革に役立てる」など経営革新に前向きな回答が寄せられた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援企業数は目標に少し足りなかったが、参加アンケート以外に感想で経営革新についてのコメントが上記のようにたくさんあり、経営者や幹部の意識改革ができたものと分析する。全体の満足度、習熟度ともに高い結果となった。次年度もこの意識啓発に努め企業が発展するきっかけとなるとともに、1社でも多くの経営革新計画承認企業が輩出されるよう、参加企業のフォローアップを図りたいと考える。							

東大阪商工会議所

事業名		人材ニーズ対応支援事業
想定する実施期間		2020 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルスの感染拡大の終息が見えない中、管内事業所においては売上の減少など大きな打撃を受けている。一方で生産年齢人口の減少に伴う人材不足が恒常化しつつある。また、働き方改革による業務の効率化、新型コロナウイルス感染拡大による業務形態の変更などを喫緊に進める必要性に迫られている。しかしながら、管内事業所においてはそのような活動を進める上での人材を確保しておらず進められないのが現状である。そこで（公財）大阪産業局と連携し、管内事業所が抱える課題の抽出しその解決策の提示、各種支援機関へマッチングするなどにより管内事業者等労働環境の改善を図り、各事業所の発展に更に寄与していく。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造事業者42,680社を対象とする。 *平成28年経済センサス活動調査より
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①中小企業の人材確保セミナーの実施 日時：2021年9月9日（木）15時～16時30分 場所：東大阪商工会議所 本館 4階大会議室 内容：(1)コロナ禍における中小企業の雇用状況について           (公財)大阪産業局 採用戦略アドバイザー 担当者           (2)中小企業のための人材コンシェルジュの紹介・好事例紹介           (公財)大阪産業局 HR戦略部プランナー 担当者 参加者： 17社19名</p> <p>②人材確保に関するハンズオン支援 実施時期：2021年9月以降随時 実施方法：個別会社訪問による 内 容：・人材不足等に関する個別相談の掘起し           ・主に「中小企業のための人材採用コンシェルジュ」を活用したマッチング など</p> <p>個別社支援の実施 5社 N社：営業部門の新規開拓チームの人材確保を希望 H社：女性社員と外国人材の人材確保を希望 T社：即戦力となる製造現場の人材を希望 S社：若年者の雇用確保を希望 P社：今後の事業拡大に向け管理職候補の人材を希望 上記5社の相談に対して、（公財）大阪産業局の採用戦略アドバイザーと本所経営指導員が帯同訪問し課題解決を図る。※但し、1社のみ緊急事態宣言下中により、先方の要望のためオンラインにて対応</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>
	①府施策連携	府施策連携商1番 管内事業者の事業継続のための中核人材や今後中核を担う人材など各事業者が求める人材確保に向けた支援を通じ、（公財）大阪産業局と連携し、管内事業者等の人材確保支援を行う。また、セミナーの講師選定など事業企画の段階から（公財）大阪産業局と連携し実施した。
②広域連携		
③市町村連携		
④相談相乗		

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	92.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	中小企業のための人材確保支援セミナーにおいては、緊急事態宣言が発令されたこともあり、参加者は17社19名と低調ではあったが、昨年比で参加者数は増加した。参加者アンケートによる満足度については9割を超えており、一定の成果はあったと思われる。また、個社支援については計画通り5社に対して実施したところ、企業の人材確保に関する課題だけでなく人材育成、社員のモチベーションアップなどについて企業の課題も発掘することが出来たことで支援企業から感謝の声もあるなど成果は大いにあったと思われる。								
		代表指標	(公財)大阪産業局との連携により人材を確保をはじめとした人材戦略に取り組む企業数							
		数値目標	5	実績数値	5	目標達成度	100%			
	成果の代表事例	個社支援企業5社の内、現在も(公財)大阪産業局の採用戦略アドバイザーと本所経営指導員が継続して支援しており、2022年度には採用が決まる可能性がある。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回、セミナーでの参加企業数が計画時の参加数をほぼ達成した。但し、緊急事態宣言が発令の中での開催もあり参加申込した事業所で5社欠席となった。次年度においても新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、リアル開催だけでなく、オンラインでの開催も視野に入れて、その時々状況に合わせた実施方法を検討する必要がある。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	90.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回、支援企業数は目標の9割超となった。参加者アンケートの満足度は9割を超え、潜在的なニーズは高い。更に参加者にとっては(公財)大阪産業局の支援メニューの情報を得たことで今後の人材確保に向けた活動をしやすくなった。								
		指標	(公財)大阪産業局が実施する「中小企業のための人材採用コンシェルジュ」をはじめとした人材戦略支援メニューの活用を検討する企業							
		数値目標	10	実績数値	11	目標達成度	110.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	5	支援企業数(実績)	5	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回、個社支援については当初の目標である5社を支援することができた。しかしながら、年度内での新規雇用確保には至らなかったが、現在も継続して支援しており来年度には新規での雇用確保が期待できる。								
		指標	(公財)大阪産業局との連携により人材を確保をはじめとした人材戦略に取り組む企業数							
		数値目標	5	実績数値	5	目標達成度	100%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					

東大阪商工会議所

事業名		技術専門学校を活用した中小企業従業員等の技術向上事業（ものづくり人材育成事業）
想定する実施期間		2009 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現代企業において人材育成は重要度を増す一方、従業員に対し技術教育が行き届かず、製造現場における生産性を阻害する一因となっている。本事業はテクノ校の設備を活用し、若手従業員を早期に育てる為の基礎知識及び、機械CADの図面の描きなどの個別技術を習得することにより技術力等の向上を目指す。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者 42,680社 ※平成28年経済センサス活動調査より
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日 時: 2021年7月14日(水)・15日(木) 9時30分～16時30分 2日間コース</p> <p>場 所: 大阪府立東大阪高等職業技術専門学校</p> <p>テ ー マ: 製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー</p> <p>内 容: 製造現場の仕事 ⇒ モノ・お金の流れ、4M(人・材料・設備・方法)とQCD(品質・コスト・納期)</p> <p>職場の安全 ⇒ 安全対策・ヒューマンエラー防止・安全活動</p> <p>品質管理 ⇒ 製造業における品質管理・SQC、TQCの概要・QCの7つの道具</p> <p>生産管理 ⇒ 7つのムダ</p> <p>参加者: 15社 20名</p>
		<p>日 時: 2021年10月2日(土)・9日(土)・16日(土) 9時30分～16時30分 3日間コース</p> <p>場 所: 大阪府立東大阪高等職業技術専門学校</p> <p>テ ー マ: 機械CAD入門セミナー</p> <p>内 容: 【1日目】 CADの概要、作図基本機能及び補助機能(線、円、長方形、OSNAPなど)について 基本編集機能(移動、複写、オフセット、トリムなど)について、寸法・文字記入について</p> <p>【2日目】 画層機能について、投影図作成(課題:縮尺1:1)、作図機能及び補助機能について(基本操作確認、多角形、構築線、ポリラインなど)</p> <p>【3日目】 画層機能、寸法機能応用について、応用編集機能(基本操作確認、分解、回転、鏡像、配列複写など)について、機械図面作成～印刷(課題:縮尺あり)</p> <p>参加者: 13社 17名</p>
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>
①府施策連携	大阪府立東大阪高等職業技術専門学校から講師の派遣、施設の利用を受け、中小企業在職者の技術向上を目指した。	
②広域連携		
③市町村連携		
④相談相乗		



事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	32.0	支援実績率	106.7%	満足率	89.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>・「製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー」</p> <p>セミナー受講者のアンケート満足度は88%と全体的に高い。新人・または入社3年目までの従業員が製造現場で働く上での品質管理や製造現場における仕事の基礎知識を習得するとともに、作業工程の改善前と改善後のリードタイムの平均値を求め、分析する手法等を学ぶ為のワークショップが行われた。参加者からは本セミナーを受講して生産現場に携わっており、今後も活用できる有効な知識を得ることができた等の好評価が寄せられた。</p> <p>・「機械CAD入門セミナー」</p> <p>セミナー受講者のアンケート満足度は94.1%と全体的に非常に高い。初心者を対象とした機械図面に関する基礎知識と、図面の描き方や作図法の基礎技能を習得するとともに、最終は機械図面の作成実習まで行った。参加者からは習得した技術を活用することで「学んだことが実践での作図でも対応できる」等、成果を実感した意見がみられた。</p>							
		代表指標	習得した知識や技術を現場で活用できると感じた事業所数						
		数値目標	10	実績数値	22	目標達成度	220.0%		
	成果の代表事例	<p>・製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー：「生産管理に携わっており、製造現場の基礎知識など今後、職場に活かせることを学ぶことができた。」と言った、直接業務につながる前向きな意見が受講者より示された。</p> <p>・機械CAD入門セミナー：「今回実習したことで、実践での図面作成に対応できる」などのアンケート回答があり、本セミナーが自社において実際に業務効率化につながることを期待される。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローする)	<p>セミナー開催がコロナ禍ということもありCADセミナーに関しては、キャンセルもあり3名ほど定員には達しなかったが、製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナーに関しては、定員の20名を集客できた。満足度は両セミナーの平均が91%と高いことから満足いただいた結果となった。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	17.5	支援実績率	116.7%	満足率	80.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>コロナ禍であったが、目標を上回る結果となり、また、受講者からは、自社で学んだことを活用できるという声もあり満足頂いたと思う。</p>							
		指標	製造現場での基礎知識を活用できると感じた事業所数						
		数値目標	5	実績数値	10	目標達成度	200.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	14.5	支援実績率	96.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>コロナ禍でキャンセルもあり、定員には達しなかったが、受講者からは、作図など自社で自身の携わっている仕事に活かせるという声もあった。</p>							
		指標	習得した知識や技術を現場で活用できると感じた事業所数						
		数値目標	5	実績数値	12	目標達成度	240.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		キャッシュレス化の推進事業														
想定する実施期間		2020 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2025年大阪・関西万博に向けて、国や行政ではキャッシュレス社会を目指すべく2019年6月に成長戦略フォローアップを閣議決定し2025年6月キャッシュレス決済比率40%を目指している。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、キャッシュレス決済を求める消費者が年代問わずに増加傾向にある現状から、本市域商業者においても需要を取り込むべくキャッシュレス決済システムを導入することが必要である。しかし、決済事業者による手数料が高額との理由で同決済システムを導入していない商業者、特に小規模事業者を多く見受けられる。そこで、同決済システムを導入することのメリットなどについて解説するセミナーを実施し本市域商業者のキャッシュレス決済システムの導入比率を高め、市域商業者の発展に繋げる。														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内全産業392,940社 平成28年経済センサス活動調査より														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>1. キャッシュレス決済アプリ活用セミナー                      日時：2021年11月24日(水) 14時～16時30分                      場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1                      内容：【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①一般消費者のキャッシュレス決済に関する変化と動向</li> <li>②JPQRとは？</li> <li>③キャッシュレス決済手数料について 講師 永田システムデザイン事務所 代表</li> <li>④キャッシュレス決済事業者による概要説明 PayPay(株)担当者、楽天ペイメント(株)担当者</li> <li>⑤行政担当者より施策紹介 東大阪市(買い物代行サービス事業)、大阪府(大阪府DX推進パートナーズ事業 資料配架)</li> </ul> <p>参加者：24社 26名</p> <p>2. 5事業所の個者支援を行った。</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">①府施策連携</td> <td>募集方法については、本市域商店街にも協力を仰ぎ広報を行い集客を図った。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td></td> </tr> </table>							①府施策連携	募集方法については、本市域商店街にも協力を仰ぎ広報を行い集客を図った。	②広域連携		③市町村連携		④相談相乗	
	①府施策連携	募集方法については、本市域商店街にも協力を仰ぎ広報を行い集客を図った。														
	②広域連携															
③市町村連携																
④相談相乗																
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	28.0	総支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	107.1%	満足率	79.3%								
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今年で3回目となるキャッシュレス決済導入・普及に関するセミナーを実施したところ、総支援企業数は100%を超えなかった。セミナー参加者の満足度は73%で、理解度「理解できた」は100%の回答であった。しかし、キャッシュレス化に取り組む企業の割合は60.5%と参加者の業種が様々な中、高い数値を上げられた。これは、管内中小企業・小規模事業者がインバウンド需要の取り込みやコロナ禍での商機について常に検討していることが伺える。しかしながら、アンケート結果を見る限り、特に製造業などでは今後のキャッシュレス決済導入に取り組む予定が無いなど、なかなかキャッシュレス決済導入に向けた取り組みが困難であることが浮き彫りとなったと思われる。														
	代表指標	キャッシュレス決済システム導入に取り組む企業の割合														
	数値目標	60%	実績数値	61.5%	目標達成度	102.5%										
成果の代表事例	<p>A事業所 2022年4月より、個人でエステサロンの立ち上げを昨年夏より計画。本所としても創業支援を続けてきた。消費者のキャッシュレス化が進み、現金商売だけでは他社に負けてしまう恐れがあるため、創業と同時に顧客の利便性を優先することで、新規客の獲得に繋がるのではとPayPayを導入した。また、楽天ペイなど今後も検討を続ける。</p> <p>個者支援は、5事業所の支援を行った。</p>															
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度											

実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</p>	<p>参加企業数は目標値に届かなかったが、セミナー参加企業の習熟度、満足度共に高い評価を得ており、多くの事業所にキャッシュレス決済導入について理解していただいた。 次年度は、4年目の事業となる為、管内事業所のキャッシュレス決済の導入比率を高めるべく、ハンズオン支援など取組みの強化を図っていきたい。</p>
------	---	---

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	100.0%	満足率	75.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	<p>キャッシュレス化に取り組む企業の割合は60.5%、セミナー参加者の満足度は73.1%と標準よりやや高めとなった。その後の個者支援の5件へつなげることができた機会となった。</p>								
	指標									
	数値目標				実績数値				目標達成度	
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	166.7%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	<p>エステサロン、自動車修理・販売業、飲食店が3事業所と5つの相談を受け、PayPay①と楽天ペイ④を新規で繋げる事ができた。当初目標より、多くの成果を得た。</p>								
	指標									
	数値目標				実績数値				目標達成度	
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度			

東大阪商工会議所

事業名		テレワークの導入・定着支援事業							
想定する実施期間		2021 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、管内中小企業・小規模事業者においても、感染防止の観点から時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方が求められている。その働き方の有効な手段の一つとして電車通勤などを伴わずに自宅等で行えるテレワークがあるが、管内中小企業・小規模事業者においてテレワークの導入や定着は進んでいない現状である。このような状況から管内中小企業・小規模事業者においてもテレワークを導入する必要がある。管内中小企業とりわけ小規模事業者においては如何にしてテレワークを導入したら良いのか、導入することのメリットなどについて知らない事業者も多い。そこで、テレワーク導入に関するセミナーを開催することで管内中小企業・小規模事業者のテレワーク導入を促進する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造事業者42,680社を対象とする。 *平成28年経済センサス活動調査より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>・テレワーク導入セミナーの開催 日時: 2021年7月29日(木) 15時～16時30分 場所: 東大阪商工会議所 本所 内容: 大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター 専門家 特定社会保険労務士 担当者 ・テレワークの現状(導入状況、取組事例の紹介) ・テレワーク導入時押さえておくべきポイントの紹介 ・(セミナー終了後)個別相談会 参加者: 19社19名</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
	①府施策連携	府施策連携労-13番 大阪府テレワークサポートデスク(大阪府雇用推進室労働環境課相談グループ)と、具体的な内容から講師の選定等まで企画段階から連携して行う。テレワークを行うにあたって押さえておくべきポイントや、就業規則等のルール作りなどに特化した内容で実施。それにより、管内小規模事業者等のテレワーク導入を効果的に促進する。							
	②広域連携								
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20	総支援企業数(実績)	19	支援実績率	95.0%	満足率	89.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーには当初申込者23社あったが、業務都合や新型コロナウイルス感染予防ワクチン接種に伴う副作用による欠席者等があり、実参加者19社19名の結果であった。参加者アンケート結果による満足度については満足度が9割を超えており、一定の成果はあったと思われる。また、アンケート集計によるとテレワーク導入する及び検討すると回答した企業数は6社あった。一方、未定及び導入は難しいとの回答企業が11社あり製造業をメインに現場作業等がメインの企業には、導入に大きな課題があると思われる。一方、導入は難しいと回答された企業からは、事務部門のみ導入を検討すると前向きな回答を得た。							
	代表指標	テレワーク導入を検討する企業数							
	数値目標	10	実績数値	6	目標達成度	60%			
	成果の代表事例	参加企業であるH社(製造業)は、アンケート回答で導入は難しいとの回答であったが、製造現場部門を除く事務部門で導入を検討すると前向きになったのは、本セミナーを受講した成果である。							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回、セミナー参加企業の内、テレワーク導入について未定との回答が37%近くあった。今後、導入を躊躇している事業所に対し導入を検討促進するようセミナーの内容を改善する。							

東大阪商工会議所

事業名		障がい者雇用促進事業								
想定する実施期間		2021 年度～ 2021 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2021年3月より法定障がい者雇用率が引き上げられ、43.5人以上従業員がいる事業所では必ず1人以上障がい者を雇わないといけなくなる。一方、中小企業にとっては、雇用のミスマッチもあり人材確保にはまだまだ苦慮している状況である。そこで、障がい者を活用するためのノウハウを示し、活用する事で人手不足の解消を図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所を対象 事業所数392, 940社								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日時：2021年5月13日（金）14時～16時 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 テーマ：障がい者雇用セミナー～誰もが輝く職場を目指して～ 内容：①障がい者雇用の基本 ・講師 大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課 担当者 ②事例紹介1 ～実習から入社1年まで ハウスあいファクトリーの場合～ ・講師 ハウスあいファクトリー(株) 担当者 事例紹介2 ～当社の障がい者雇用について～ ・講師 レッキス工業(株) 社長室長 ③活用できる助成金について～障がい者雇用に関する助成金制度の紹介～ ・講師 大阪労働局 職業安定部 雇用保険課長補佐 参加者：15社17名								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	府施策連携：労働関係NO7 障がい者人材確保支援事業 事業実施において就業促進課障がい者雇用促進グループと連携し障害者雇用の必要性や注意点の説明を行う							
②広域連携										
③市町村連携										
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	7.5	支援実績率	50.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	障がい者雇用セミナーを開催し、採用担当者たちの障がい者雇用の理解度を高め、仕事の選定に力を入れる。障がい者を雇用するにあたって障がい者の特性やその配慮について詳しく理解できるといいう前向きな回答が得られた。人材不足の環境下でもあることから、障がい者雇用に興味を抱いている参加者が多かった。採用担当者の中には、障がい者雇用について積極的に取り組むとの意向を示しており、経営者に理解を得れるヒントを理解したと回答している企業もあり障がい者雇用に対する意識を高めることが出来た。								
		代表指標	障がい者人材確保についての理解を深める							
		数値目標	15	実績数値	7	目標達成度	46.7%			
	成果の代表事例	参加者アンケートから「障がい者の人材確保についてよく理解できた」「理解できた」がすべてであった。参加した事業所は既に障がい社雇用に関心が高い事業所であり、「障がい者の特性やその配慮について」や「障がい者従業員の相談体制について」など運用に関するセミナーを希望するものが多かった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援企業数は目標に達し、参加アンケートの感想で上記のように障がい者雇用の運用に関するセミナーの希望もあったが、多くの中小企業は障がい者雇用に踏み出せない状態であり、新型コロナウイルスの影響で雇用情勢も変化していることもあり、この事業については一旦終了する。								

東大阪商工会議所

事業名		技能検定の活用促進事業							
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	労働人口が減少していく中、中小企業では今いる従業員を育成し強い組織を作り上げることが喫緊の課題となっている。本事業において製造事業者の技術系人材の育成や技能継承を円滑化すべく公的制度（技能検定及びものづくりマイスター制度）の活用促進を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者 42,680社 ※平成28年経済センサス活動調査より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日 時: 2022年3月9日(水) 15時～16時50分 テーマ: 若手技術者の大きな可能性 内 容: 第1部 事例発表 「未来へつなぐ技術系人材育成術」 講師 (株)野村鍍金 技能センター 担当者 第2部 技術習得に役立つ公的制度の活用について 講師 大阪府職業能力開発協会 技能検定部 担当者 同 技能振興課 担当者 第3部 交流会(講師、参加者による名刺交換を行った)  参加者: 16社 19名							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	講師の選定から事業企画において大阪府と連携する。また、実施にあたっては広報協力、更には講師として大阪府の施策について解説して頂いた。						
		②広域連携	府施策連携第13番。技能検定の活用促進事業を通じ、府内製造事業者の技術者育成支援を行う。また、実施に際しては各支援機関との連携を図る。						
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	17.5	支援実績率	70.0%	満足率	93.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「若手技術者の大きな可能性」 セミナー受講者のアンケート満足度は84.2%と全体的に高い。中小企業は、人材不足が社会問題となる中、限られた人材を適材適所に配置し、いかに育て上げるかが喫緊の課題である。第1部では(株)野村鍍金 技能センターの担当者より自らが技能五輪へ出場した経験を活かし技能系人材育成に成果を挙げている事例発表があった。第2部では大阪府職業能力開発協会の担当者から技術習得に役立つ公的制度の活用について説明があった。参加者からは「技術者の教育という点で参考にした」と、前向きな意見が多くあり、施策に対する意識を高めることができた。							
		代表指標	技能検定の活用への取組みを検討する企業割合						
		数値目標	50%	実績数値	73.7%	目標達成度	147.4%		
	成果の代表事例	「技能検定の受験に向けて取組みを検討したい」「ものづくりマイスター制度の活用を検討したい」とのアンケート回答が大半であった。本セミナーの人材育成方法を参考に企業の体質強化を図りたいと、前向きな意向を示す事業所も見られた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナーの開催時期がまん延防止重点措置の解除後、すぐということもあり、出席を見合わせる企業が数社あり、支援企業数は目標に届かなかったが、「技能検定を活用したい・活用を検討する」企業が多く、また、全体の満足度は84.2%と高い傾向にあった。次期は更に周知PRの仕方を工夫し、大阪府、大阪府職業能力研究所のアドバイスを頂きながら事業を実施したい。							

東大阪商工会議所

事業名		事業承継支援ネットワーク事業
想定する実施期間		2018 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2018年度より実施してきた同事業では、セミナーによる集団支援や事業承継コーディネーターによる個人支援で管内事業者の事業承継を支援してきた。その中には様々な課題を抱えるケースがあり、次年度以降も事業承継問題の多様性と共にそのニーズも予想される。加えて今後は、当方から積極的な事業承継の課題を掘り起しや、場面に応じたきめ細やかな支援を実施していく。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造業者42,680社を対象とする *平成28年経済センサス活動調査結果より
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①事業承継セミナーの開催 (八尾商工会議所) 日時：2021年6月24日(木)18時30分～20時30分 場所：八尾商工会議所 3階中会議室 内容：[第1部]事業承継に係る事例のご紹介 [第2部]事業承継計画作成ワークショップ 参加者：22社23名 (東大阪商工会議所) 日時：2021年9月29日(水)14時30分～16時30分 場所：東大阪商工会議所 4階大会議室 内容：基調セミナー「事業承継時の経営者保証解除について」、事例発表・施策紹介 参加者：17社17名 (松原商工会議所) 日時：2022年2月15日(火)13時30分～15時 場所：松原商工会議所 2階会議室 内容：事業承継体験発表 講師 梅乃宿酒造(株) 代表 参加者：20社20名
		②事業承継連絡会議の開催 日時：2021年9月29日(水)13時30分～14時30分 場所：東大阪商工会議所4階中会議室 内容：(1)各団体による事業承継の取組みについて (2)その他 出席者：10名 (株)日本政策金融公庫東大阪支店・阿倍野支店、大阪府経営支援グループ、東大阪商工会議所、八尾商工会議所、松原商工会議所、事業承継コーディネーター
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>
①府施策連携		大阪府経営支援グループと連携し、連絡会議での情報交換やセミナーでの事例発表や施策発表をして頂いた。
②広域連携	日本政策金融公庫東大阪支店、阿倍野支店や八尾商工会議所、松原商工会議所と連携し、連絡会議での情報交換や各団体において関連セミナーの実施を行った。	
③市町村連携		
④相談事業相乗		

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	56.5	支援実績率	94.2%	満足率	96.4%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>【八尾商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小規模事業者数(支援事業所数)は20.5社</li> <li>●満足度は94.3%</li> <li>●その他回答(複数回答)として、「事業承継対策への関心や知識が高まった」13件、「事業承継に向けた自社の現状を見直すキッカケとなった」9件、「事業承継への留意すべきポイントが理解でき、ステップに繋がられる」8件と、事業承継への準備の必要性について意識が高まったと考える。</li> <li>●4社が個別相談を希望しており、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターと連携して支援にあたる。</li> </ul> <p>【東大阪商工会議所】</p> <p>参加企業全般の満足度としては90%以上であった。また、半数以上の参加者が事業承継を意識した経営に取り組む意欲が強まったと回答し、その他事業承継への関心や知識が高まったとした。加えて、個別相談を希望する企業もあり、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターのコーディネーターに繋いだ。</p> <p>【松原商工会議所】</p> <p>参加企業の満足度は約93%と高く、実体験を踏まえた失敗談や成功談は事業承継を考えるきっかけとなった。また、講師が被承継者であり、先代からの教えに自身の考え方を加えてチャレンジしている具体的な話は、参加された若手経営者の被承継者として意識向上にも繋がった。</p>							
		代表指標	事業承継診断実施企業数						
		数値目標	60	実績数値	44	目標達成度	73.3%		
	成果の代表事例	<p>【八尾商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本セミナーが事業運営の参考になったかの問いに対して、37.5%が「事業承継に向けた自社の現状を見直すきっかけになった」、32.5%が「事業承継への関心や知識が高まった」と回答され、目的である事業承継への気付きに繋がった。</li> <li>●セミナー受講者の内、63.6%が「事業承継を意識した経営に取り組む意欲が強まった」と回答。</li> <li>●セミナー受講者の内、4社から個別相談の希望をいただき、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターと連携して個別相談に対応。</li> </ul> <p>【東大阪商工会議所】</p> <p>自動車部品等の製造販売を手掛ける会社であるが、現在、債務超過に陥っている他事業承継時の経営者保証解除など事業承継を進めるうえで不安を抱えている。今般、セミナー受講後に個別相談があり、事業承継コーディネーターと共に実地訪問の上、ヒアリングを行った。特に事業承継時の経営者保証解除の詳しい説明や現在の借入状況を確認し、事業承継を進める支援を行った。</p> <p>【松原商工会議所】</p> <p>事業承継を進めている参加者からは、実際の体験談を聴くことで、今後の気を付けなすべきことの再確認や事業承継を計画的に進めていく大切さを学んだとの声をいただいた。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)								



【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	20.5	支援実績率	102.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業承継に向けた準備の啓発とノウハウの取得(八尾商工会議所)							
		指標	事業承継診断実施企業数						
	数値目標	20	実績数値	17	目標達成度	85.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	85.0%	満足率	94.1%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業承継に向けた準備の啓発とノウハウの取得(東大阪商工会議所)							
		指標	事業承継診断実施企業数						
	数値目標	20	実績数値	10	目標達成度	50.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	95.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業承継に向けた準備の啓発とノウハウの取得(松原商工会議所)							
		指標	事業承継診断実施企業数						
	数値目標	20	実績数値	17	目標達成度	85.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		売りメッセ取引商談会 in東大阪事業							
想定する実施期間		2003 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	製品や商品を製造又は卸・小売している地域事業所に、通信販売や店舗販売、卸売企業等の担当者との商談の場を提供し、事業所の販路開拓支援を行うことを目的とする。特に、新型コロナウイルス感染症拡大初期から各事業所にとっては売り手買い手ともに営業活動が制限され、新規の開拓が困難となっている。1社でも多く取引に結びつくよう、商談会を開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	142,224社府下製造事業者、小売業者、卸売業者 142,224社 *平成28年経済センサス活動調査により							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日 時:2022年1月12日(水)15時～17時 商談会直前「プレゼンセミナー」 場 所:東大阪商工会議所 本所本館4階 大会議室 内 容 ①商談で成功させるための事前準備②商談時のプレゼンの仕方③商談後のフォロー その他、商談会で効果的なプレゼンを行う方法・具体例の解説 講 師 木野コンサルティング事務所 代表者 参加者 30社 34名  日 時:2022年1月21日(金)10時～16時30分 場 所:クリエイションコア東大阪 南館3階クリエイターズプラザ バイヤー: 23社、売込企業 93社、総商談件数328件 商談成果: 商談成立 27件、商談成立可能性あり 11件  <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携	(b): 北大阪・守口門真・大東・八尾・松原商工会議所等と連携することによって、バイヤー事業所や売り込み事業所の参加拡大と相乗効果が見込まれる。						
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	148	総支援企業数(実績)	123	支援実績率	83.1%	満足度	87.6
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	商談会については、コロナ禍(オミクロン株の拡大)での商談会開催であったこともあり、参加企業数が目標値に達しなかったが、昨年を上回る売込企業の参加ならびに商談希望をバイヤーに繋ぐことができた。また、商談成立件数については、20件超に結びついたことは、参加企業数減少傾向にある中で、結果として成功したと考えられる。今回の売りメッセについては、売込企業やバイヤーより通常より濃い商談会となったとの感想が聞かされた。							
		代表指標	商談件数						
		数値目標	450	実績数値	328	目標達成度	72.9%		
	成果の代表事例	大手メーカーが取り扱う酒類ではなく、「まるごとフルーツりんご」「まるごとフルーツレモン」「まるごとお野菜しょうが」「まるごとお豆コーヒー」の4種の330ml小瓶ビール(クラフトビール)は種類も豊富でオリジナリティーがあり、バイヤーにとっては取引がし易かったと思われる。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナウイルス感染拡大(まん延防止等重点措置発令直前)での開催であったため、直前のキャンセルや過去に参加していただいた事業所も今年は自粛するとの回答を多く聞かされた。本年度も昨年に続きコロナ禍の開催であることから、申込みが多数あったバイヤーについては事前マッチングを行った。 また、次年度への継続参加も見据え、来場者が安心して参加いただけるように商談会場の来場人数を抑えるとともに会場の換気、商談スペースを含む会場全体の消毒を徹底し、コロナ禍での開催に不安を持つ来場者への対応に最善を尽くして開催した。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	118	支援企業数(実績)	93	支援実績率	78.8%	満足度	87.1
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	商談成立件数が27件となり、参加企業数が増加傾向にある中で、結果として成立したと考えられる。また、商談成立には至っていない事業所からは、「今回の商談で商品改善などの手ごたえを掴んだ」「バイヤー担当者と話して流通の動向が知れ商品の改善に結びつく」など前向きな感想を聞いた。							
		指標	商談件数						
		数値目標	450	実績数値	328	目標達成度	72.9%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	100.0%	満足度	89.3%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	プレゼン力向上セミナーを開催したところ、34名中31名が「自身のスキルアップにつながった」「習得知識を活用したい」との回答が得られ、今後の商談に活用できるセミナーとなった。							
		指標	セミナー理解度						
		数値目標	70%	実績数値	89.3%	目標達成度	127.6%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				